

研修報告書 No. 8

所 属： 三豊総合病院

研修先： 嶺北中央病院

この度、地域医療研修として2023年8月28日から9月29日まで、高知県本山町の町立国保嶺北中央病院で研修を行いましたので報告いたします。

私は兵庫県西宮市で生まれ育ち、大学で初めて香川県に来ました。大学時代に何度か高知県に遊びに行ったことはありましたが、高知県の地域医療に触れるのは今回が初めての経験になりました。

現在、医師臨床研修を行っている三豊総合病院でも高齢化社会が進んできておりますが、入院患者さんの多くは80代後半までで、診療科にもよりますが90代の方はそこまで多くない印象です。また、香川県は元々面積が小さいことに加え、山間地域においても特有のお椀型のような低くあまり深くない山が多いため、大病院までのアクセスは比較的良好です。

対して、嶺北中央病院では入院患者さんは90代後半の方も珍しくなく、特に外来患者さんでは90代でシャキッとした元気な方が沢山いることに驚きました。また、診療所やデイケアセンターの送迎に同行した時には、その山の奥深さに驚かされました。町まで降りてくるのに車で30分以上の時間を要し、ましてや大病院への搬送の際には、車で軽く1、2時間を超えるところにある家に住んでいる患者さんも少なからずおり、山間の地域の方々にとって嶺北中央病院からの診療所への医師の派遣がいかにか大事かを実感しました。

また、香川県ではそこまで運用数が多くないドクターヘリですが、このような地域ではヘリによる搬送も重要であると感じました。

嶺北中央病院での研修では、内科をはじめ様々な診療科の外来見学、診療所や施設への派遣の同行、訪問診療の同行、救急外来での対応、病棟業務を中心に、リハビリやデイケアの見学なども経験できました。今まで救急外来で対応することは多かったです。診療所や施設への派遣では実際に外来を自分で持つことになり、初めての紙カルテで慣れないことも多く、最初はどのように対応して良いか分かりませんでした。先生のご指導でなんとかこなすことができました。診療所では、特にできる検査や薬の処方にも限られる中、今自分にできることは何か、できない時にはどのように今後大きな病院につなげるか対応を考える必要がありました。病棟業務では単に治療がゴールではなく、社会的な背景を考えながらどのように自宅や施設退院まで繋げるかが目標であることを実感しました。そのためにはソーシャルワーカーさんや、理学療法士さん、作業療法士さん、言語聴覚士さんのリハビリの力が非常に大きく、医療スタッフの方との連携の大切さを学びました。医師として治療方針を考える際にもそこまで視野に入れて、どこまで治療を進めるべきかを考える必要がありますが、ご家族ご本人さんのご意向も踏まえて治療方針を提供することは非常に難しかった

です。救急外来では三豊の研修と異なり、1日あたりの件数は少ないですが、その分一つ一つの症例に丁寧に取り組み、先生方からフィードバックをゆっくりして頂けたのはとても勉強になりました。

今回の地域医療研修を通じて、嶺北中央病院が地域全体で最後まで患者さんを支えるために切れ目のない医療を実践していることを学びました。この研修で学んだことを忘れず、今後の診療に活かしていきたいと思います。

最後に先生方やスタッフの方はとても温かく迎え入れてくださり、優しく丁寧に指導していただき、心から感謝しております。ありがとうございました。